

3 15
72
54

商業科教育法

非常勤講師
(小樽商大短期大学部教授)

金 卷 賢 字

教育実習

英語科

非常勤講師
(小樽商大短期大学部助教授)

北 村 正 司

商業科

非常勤講師
(小樽商大短期大学部教授)

金 卷 賢 字

教育方法論

非常勤講師
(北海道大学教育学部講師)

鈴 木 秀 一

教 授 要 目

昭 和 3 4 年 度

小 樽 商 科 大 学



小樽商科大学教授要目

目 次

I 学科目履修方法	1
1 昭和34年度開設科目	1
2 履修方法	3
II 教授要目	5
1 一般教育科目	5
2 外国語	12
3 体育	19
4 専門科目	21
5 教職に関する専門科目	35

I 学科目履修方法

1. 昭和34年度の開設科目は次の通りである。

区分	学 科 目	単位	年度	担当教官	備 考	
一般	哲学	4	II	川村教授		
	倫理学	4	I	" "		
	心理学	4	I・II	野沢助教授		
	文学	日本文学	4	I	広田助教授	
		外国文学	4	II	松本講師	
	日本文化史	4	I	広田助教授		
教育科学	社会学	4	I	浜林助教授	(北大文学部教授)	
	※地理学	4	I	井上講師		
	法学概論	4	I	中川講師		
	憲法	2	II	桑原講師		
	◎経済学概論	4	I	麻田助教授		
自然科学	◎数学	4	I	武隈教授	(北学大助教授)	
	物理学	4	I	小宮講師		
	化学	4	I	川原教授		
	生物学	4	I	向川講師		
	◎商業概論	4	I	岡本教授		前期 後期
外国語	◎英語(1)	12	I II	(備考参照)	(北大文学部講師)	
	英語(2)					4
	英語学	4	IV	宇賀治講師		
	英文学	4	I・II	清水教授		
	◎独語	8	I II	関講師		
				" "		
	フーベル講師	(外人講師)				
	◎仏語	8	I II	松尾教授		
				マチルド講師		
	◎中国語	8	I II	川上助教授		
◎露語	8	I II	" "			
			松本講師			
◎西語	8	I II	" "			
			一色助教授			

体 育	◎実 技	2	I	{杉山 講師 須貝 講師	(非常勤講師)
	◎講義 { 体育理論 保 健	2 2	II II	杉山 講師 久世 講師	(小樽協会病院医長) 予定
専 門 科 目	◎民 法 I	4	II	木部 講師	(小樽商大短期大学部教授)
	◎民 法 II	2	III	中川 講師	後 期
	◎商 法 I	4	III	喜多 助教授	
	◎商 法 II	4	IV	" "	
	◎国 際 法	4	IV	桑原 講師	
	※経 済 法	2	IV	実方 講師	(大阪市立大学教授) 予定
	◎統 計 学	4	II	竹内 講師	
	◎経 済 原 論	4	II	藤井 講師	
	◎経 済 変 動 論	2	IV	地主 助教授	後 期
	◎計 量 経 済 学	4	IV	古瀬 教授	
	◎経 済 史 概 論	4	II	浜林 助教授	
	◎財 政 学	4	III	早見 講師	
	◎国 際 経 済 論	4	IV	麻田 助教授	
	◎商 業 英 語	4	III	木曾 教授	
	◎金 融 経 済 論	4	III	阪口 助教授	
	◎銀 行 論	4	III. IV	藤沢 助教授	
	◎配 給 論	4	III	岡本 教授	
	◎証 券 市 場 論	4	IV	木村 助教授	
	◎保 険 論	4	IV	久木 教授	
	◎経 営 経 済 学	4	II	室谷 教授	
◎簿 記 学	4	II	久野 講師		
◎商 業 数 学	4	II. III	武隈 教授		
◎会 計 学	4	III	石河 教授		
◎研 究 指 導	12	III. IV	専 門 科 目 担 當 教 官		
◎職 業 指 導	4	III	阿部 講師	(非常勤講師)	
◎日 本 経 済 史	4	III	室谷 教授		
◎農 業 経 済 学	4	II. III	藤沢 助教授		
◎社 会 政 策	4	IV	吉武 講師	事情により前期授業(2単位)となる場合がある。	
◎商 品 学	4	IV	川原 教授		
◎財 務 管 理	4	IV	古瀬 教授		
◎原 価 計 算	4	III	久野 講師		
◎監 査 論	2	III. IV	西野 講師	(非常勤講師) 予定	

教 職 に 関 する 専 門 科 目	教 育 原 理	3	I	鈴木 講師	(北大教育学部講師)
	教 育 心 理	3	II	野沢 助教授	
	英 語 科 教 育 法	3	II	北村 講師	(小樽商大短大助教授)
	商 業 科 教 育 法	3	II	金巻 講師	(" " 教 授)
	※教 育 実 習	2	III	北村 講師 金巻 講師	(" " 助 教 授) (" " 教 授)
	教 育 方 法 論	3	II	鈴木 講師	(北大教育学部講師)
特 別 講 義	世 界 文 化 史		I ~ IV	学 長	
備 考					
(1) 表中, ◎印は必修科目を示す。					
(2) 表中, ○印は選択必修科目を示す。					
(3) 表中, ※印は集中講義を示す。					
(4) 英語(1)の担当教官は次の通りである。 清水教授, 木曾教授, 玉井助教授, 久納講師, 宇賀治講師, 北村講師(本学短大助教授), 北市講師(本学短大講師), 野尻講師(北大文学部助教授), マッククラウド講師(外国人講師), 英語(2), 英語学および英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に一般学生の課外科目としての履修参加も認められている。					

2. 学生は4年間在学し下記各項に示すところに従い, 単位を取得することによつて卒業資格が与えられる。

(1) 一般教育科目

一般教育科目は人文科学, 社会科学, 自然科学の3系列につき, それぞれ3科目12単位以上を履修しなければならない。

なお, 社会科学系列の経済学概論, 商業概論は昭和34年度入学者に対しての必修科目, 自然科学系列の数学は全学生に対しての必修科目となっており, 社会科学系列の憲法(2単位)は, 高等学校(商業科および英語科)二級普通免許状を取得する学生についてのみ必修となっている。

また文学の単位は日本文学, 外国文学のうち, いずれか1科目だけが卒業のための所要単位数に算入されることになっている。

(2) 外国語

英語(1)は1年度, 2年度の各年度毎に毎週6時間履修し, 担当教官(各クラス3名)の総合成績が合格することによつて, 年度毎の6単位

単位修得要領一覽表 (最低所要単位数)

が与えられ、合計12単位を必修とする。(別表参照)

英語以外の外国語(独, 仏, 中, 西, 露の各外国語)は、何れか1ヶ
国語を選択必修とし、毎週4時間、年度毎(1, 2年度)4単位宛計8
単位を履修しなければならない。

(3) 体育

体育は実技2単位(1年度), 講義2単位(2年度)を必修とする。
なお、講義2単位は、体育理論(2単位), 保健(2単位)の何れか
一方を選択履修すればよいことになっている。

(4) 専門科目

専門科目は84単位以上(職業指導を除き)を履修しなければならない。
なお、専門科目中、民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論,
経営経済学, 簿記学および会計学各4単位は昭和34年度入学者に対して
の必修科目となっている。

また、高等学校商業科(英語科は該当せず)二級普通免許状を取得す
る学生については、上記84単位の外、職業指導を必修とする。

研究指導は毎週3時間、3年度からの2ヶ年継続授業12単位(卒業論
文を含む)で専門科目84単位中に含まれる。

研究指導に参加しない学生は研究指導12単位分を、他の専門科目の履
修によつて充足し、84単位以上を履修しなければならない。

学生は、3学年度から経済学科専攻と商業学科専攻とに分れるが、他
学科専攻の特殊専門科目は卒業の単位には算入されない。従つて専門科
目は各人の所属する専攻の特殊専門科目と共通専門科目について84単位
以上を修得しなければならないことになる。

(5) 教職課程

商業教員養成課程の履修を条件として入学した学生は、上記の外、高
等学校商業科二級普通免許状取得の資格を得ることも卒業のための条件
となっているから注意を要する。

その他、単位の修得要領については、次頁の別表を参照すること。

種別	科目 区分 年度別	一般教育科目				体育			外国語						専門科目	教職に関する専門科目	合計										
		人文 科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語		英語以外の 外国語		計														
									英語(1) I	英語(2) II	英語(2) 英語学	英文 学		小計				I	II	小計							
A 一般学生	31年度生	12	12	12	36	2	2	4	4	4			8				16	84 (他学科専攻特殊専門科目, 職業 指導を除く)	140								
	32年度生											4	6			10	4			4	8	18	84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)	142			
	33年度生											6	6			12						20			84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)	144	
	34年度生											6	6			12						20					84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)
B 商業教員養成 課程(教職課 程)を履修条 件としての入 学者	31年度生	12	12	12	36	2	2	4	4	4			8				16	84 (職業指導必修。他学科専攻の 特殊専門科目を除く)	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 商業科教育法 3単位 教育実習 2単位	158							
	32年度生											4	6			10	4				4	8	18	88 (職業指導必修, 民法I, 商法I, 統計 学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済 学, 簿記学, 会計学を必修とする。他 学科専攻特殊専門科目を除く。)			
	33年度生											6	6			12							20		88 (職業指導必修, 民法I, 商法I, 統計 学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済 学, 簿記学, 会計学を必修とする。他 学科専攻特殊専門科目を除く。)	162	
	34年度生											6	6			12							20				88 (職業指導必修, 民法I, 商法I, 統計 学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済 学, 簿記学, 会計学を必修とする。他 学科専攻特殊専門科目を除く。)
C 高等学校英語 科二級普通免 許状取得希望 者	31年度生	12	12	12	36	2	2	4	4	4	16	8	32				40	84 (他学科専攻の特殊専門科目, 職業指導を除く)	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 英語科教育法 3単位 教育実習 2単位	178							
	32年度生											4	6	14	8	32	4				4	8	40	84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)			
	33年度生											6	6	12	8	32							40		84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)	178	
	34年度生											6	6	12	8	32							40				84 (民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会 計学を必修とする。他学科専攻特殊專 門科目, 職業指導を除く。)

注

- 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- A, B欄はそれぞれ卒業を条件とする最低所要単位数である。
- 教職課程以外の一般学生で、高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
但し、その場合はB欄中、A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は、C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
B欄該当者がC欄をも履修しようとする場合はC欄中のB欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

- 表中、「英語以外の外国語」とは独語, 仏語, 中国語, 西語, 露語を示す。(うち1科目選択必修)。
- 一般教科目(社会科学系列)中の経済学概論, 商業概論, ならびに専門科目中の民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学はA, B, C各欄における「34年度生 に対してのみ必修となっている。

II 教授要目

1. 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

- (1) 哲学の意味, 愛知としての哲学
- (2) 哲学と常識, 哲学と日常性
- (3) 哲学と科学
- (4) 哲学と宗教
- (5) 哲学の心的起源
 - a) 驚 異 b) 懐 疑 c) 不 安
- (6) 自然と人間, 自然哲学
- (7) 神と人間, 神学
- (8) 理性と人間
 - a) 近世の理性の哲学
 - i) 実体の形而上学
 - ii) 観念の起源
 - iii) 先験哲学
 - b) 理性の哲学の発展
 - i) 独逸観念論
 - ii) その崩壊と最近世への移行
- (9) 最近世の哲学の問題

倫 理 学

教授 川 村 三千雄

- (1) 倫理学の意味
- (2) 道德の具体的あり方
 - a) 日本的道德
 - b) 西歐的道德
- (3) 人間の生に対する態度
- (4) 人間とは何か, 人間の本質の捉え方
- (5) 人間の最高目的についての考え方, 善の問題

- (6) 自由の問題
- (7) 宗教と道德との問題

心理学

助教授 野 沢 晨

目的：現代心理学で重要と考えられる基礎問題を幾つかとり上げ、具体的な研究状況の知識を通してその研究方法、特にその基本的な研究態度を明かにしようとする。商学や経済学の理論的な研究や実務に従事する場合に隣接科学として心理学が果たす役割の比重は次第に増加しつつあるが、そのような場合に参考書を理解し、更に進んで調査等を行なう為の基礎的知識を養うことにもなる。

方法：現代の心理学は実験科学であるから、単なるノートの講述筆記では極めて不十分な講義にならざるを得ない。そこで実験、デモンストレーション等を出来るだけ行い、又具体的な日常の問題と関連させて考察する予定である。(テキストは使わない)

テーマ：A) 認知機能の問題 従来の感覚論を批判し所謂第6感の作用、「もの」とは何か?等の問題をめぐって認知機能と生活行動のむすびつきを考察する。次に実験観察に基づいて知覚場の仮説を提出し、これによつて錯視、立体視、恒常性、キネマ運動等がどの位説明されるかを試みる。

B) 学習の問題 我々が難解な問題をといたり技術を習得する過程を学説史を通じて考察し、その問題点を明かにする。

C) 社会行動の問題 社会行動様式の進化発達過程を考察し、集団分析の方法(ソシオメトリー) 集団力学の実験を通じ社会行動の法則を見、その応用(H.R.)に及ぶ。

日本文学

助教授 広 田 二 郎

講義要項—題目 近世文学論

日本の近世の歴史的展開のうちに文学の発展々開をとらえ、文学の在り方及び意義に説き及ぼうとする。

- 1 近世への歴史的考察
- 2 近世文学の発生
 - イ 俳諧文学—貞門—

- ロ 仮名草紙
- 3 近世文学の発展
 - イ 俳諧文学—談林蕉風—芭蕉を中心として—
 - ロ 浮世草紙—西鶴を中心として—
 - ハ 浄瑠璃歌舞伎—近松を中心として—
- 4 近世文学の展開と終末
 - テキスト—使用せず。

外国文学 (露文学)

講師 松 本 忠 司

講義の主題は(ロシア・インテリゲンチヤの歴史)である。19世紀初頭から同世紀末に至るロシアの主要な作家・詩人・思想家の社会的および創作的活動の特徴づけをおこない、文学作品に現われた知識人の形象の系譜を考察しつつ、社会的勢力としてのインテリゲンチヤの歴史的歩みを考究することになる。

プランのあらまし

- 1 ロシア史概観
- 2 デカブリストの運動とロマンチズム
- 3 貴族の自己批判
 - (1) チャーツキイ, 《知恵のための悲しみ》 (2) オネーギン (3) ペチョーリン
- 4 西欧主義とスラヴ主義
- 5 (40年代人)
 - (1) ベリトフ, 《だれの罪か》 (2) ルージン (3) ラヴレーツキイ, 《貴族の巢》 (4) オブローモフ主義
- 6 雑階級人の文学
- 7 (60年代人) —バザーロフ— (父と子) の問題
- 8 農奴解放と人民主義文学
- 9 トルストイとドストエーフスキイ
- 10 80年代の文学, ナロードニキ知識人の敗北。
- 11 ガルシン, チェーホフ, コロレンコ
- 12 ゴーリキイと世紀末の文学

日本文化史

助教授 広田二郎

日本の文化の発展を、古代から通史的に講義してみる予定である。技術史精神史との連関、外国の文化との関係について注意し、日本の文化とはどういうものであるかを明らかにし、その世界史的な位置を見きわめられるように指導してゆきたい。

テキスト一使用せず。

社会学

助教授 浜林正夫

- [I] 近代社会観の成立
 - (i) 中世の社会思想
 - トマス・アクイナス, 唯名論, 神祕主義
 - (ii) ルネサンスと宗教改革
 - マキアヴェルリ, ルター, カルヴァン
 - (iii) 近代自然法思想
 - ホッブズ, ロック, ルソー
 - (iv) 市民社会の成立
 - イギリス, フランス, ドイツ
- [II] 社会学の成立と展開
 - (i) 総合社会学
 - コント, スペンサー, ヘーゲル
 - (ii) 形式社会学
 - テニエス, ジンメル
 - (iii) 二十世紀の社会学
 - デュルケーム, ウェーバー, マンハイム, プラグマティズム
 - (iv) 社会学と社会主義
 - 空想社会主義, マルクス主義
- [III] 現代社会の構造
 - (i) ウェーバーの資本主義観
 - (ii) 大衆社会論
 - (iii) 階級と民族
 - (iv) 日本の現代

地理学

非常勤講師 (北海道大学文学部教授) 井上修次

法学概論

講師 中川良延

国家は私人の私的生活に対してどのように干渉しているか。いかえればわれわれの私的生活はいかなる法によつて又どのように規制されているか。このような国家法としての私法を中心として法学の講義を行います。従つて憲法とか刑法, 国際法等のごとき公法は原則として取扱いません。ただ民法とか商法という私法も, その大原則はすでに憲法にかかけられており, この憲法の規定に反することはできないわけですから, その限りで憲法にも若干触れます。それともう一つ, 各々の私法も法律である以上一定の法的な手続を経て作られるのですから, この点で憲法の関係規定を考察外におくわけにはいきません。

このように私法を中心とするといつても, それ以外の法を全く無視するわけではありません。たとえば私的権利についての争いを終局的に法的解決してくれる民事訴訟制度についても簡単に説明する予定です。

講義の内容は以上のとおりですが, 教科書としては中川善之助, 木村亀二編「法学概論」を使用します。なお他に参考書としては尾高朝雄著「法学概論」が分りやすく体系的に書かれているのでよいでしょう。

憲法

講師 桑原輝路

- 1 日本国憲法の概観
- 2 とくに立法, 司法, 行政の三権の構成について, すなわち統治機構を規定した部分(第4章 国会, 第5章 内閣, 第6章 司法)を中心に行う予定である。すなわち国会, 内閣, 裁判所の三機関のそれぞれの組織, 権限及びそれら相互の権限関係等について講義する。

経済学概論

前期 助教授 麻田 四郎
後期 助教授 地主 重美

(前期)

テキストとして、市村真一著 経済循環の構造 昭29 創文社 を用い、マクロ分析(国民所得分析)による国民経済の鳥瞰的把握を目的とする。

- 1 経済の循環
- 2 生産過程
- 3 人口と労働
- 4 資本
- 5 国民所得の構成
- 6 国民所得の決定と変動

(後期)

詳細は未定であるが、前期のマクロ分析のあとをうけて、ミクロ分析(生産者行動、消費者行動、価格形成、市場構造等の分析)を主とした講義をする予定。

商業概論

教授 岡本 理一

商業に関する一般的解説を行い、以て現代商業の研究に必要な準備的、基礎的知識をあたえることを目的とする。

- 1 商業の学問
 - (1) 学問とは何か
 - (2) 商業学の発達
- 2 商業の起源とその発達
 - (1) 商業の発生
 - (2) 階段的発達
 - (3) 機能別発達
- 3 商業の概念
 - (1) 現代の商業学説と批判
 - (2) 現代商業の分類
- 4 現代商業の構造
 - (1) 商業の主体
 - (2) 商業の形態
 - (3) 商業の客体
 - (4) 商業の依存関係
- 5 配給組織
 - (1) 配給の意義
 - (2) マーケティングについて
 - (3) 配給組織 (a 集収組織 b 仲継組織 c 分散組織)

6 資本主義の発展と商業

- (1) 商業介入傾向と商業廃除傾向
- (2) 協同組合と公企業による商業経営
- (3) 社会主義と商業

テキストとして福田敬太郎著『商学総論』(昭和30年2月, 千倉書房刊)を使用する。

数 学

教授 武隈 良一

微分積分学の講義を行う。内容次の如し。

- 1 実数, 数列
- 2 変数と函数
- 3 導函数
- 4 導函数の性質と応用
- 5 原始函数
- 6 定積分
- 7 定積分の応用
- 8 無限級数
- 9 偏微分法
- 10 重積分
- 11 平面曲線

使用テキスト

川上, 石川共著 微分積分学(宝文館)

物 理 学

非常勤講師 小 宮 英太郎
(北海道学芸大学助教授)

化 学

教授 川 原 鳳 策

生 物 学

非常勤講師 向 川 信 一
(北海道大学理学部教官)

2. 外 国 語

I 英 語

教授 清水 春 雄

講 読

「開拓者精神」の溢れる次の名篇を味読したい。

Willa Cather : O Pioneers !

(雪溪書房発行 ¥ 110)

I 英 語

教授 木 曾 栄 作

I 英 語

助教授 玉 井 武

I 英 語

講 師 久 納 泰 之

Irwin Shaw : Jip On A Dead Jockey and Voyage Out,
Voyage Home

Extensive Reading を狙いとする。

I 英 語

講 師 宇 賀 治 正 朋

人の思考様式は、使用する言語に大きく依存しており、従つて国語が違えば環境理解の仕方にも相違がある。というふうに考える私は、英語教育に当つても、この点に主眼をおいて授業を進めて行きたいと考えております。つまり、テキストの大まかな意味を把握すれば充分という態度をとらず、一字一句をゆるがせにせず、それにからまる背景—聯想・歴史・風物詩—等を味わい、この様にするこゝによつて、日本語におき換えられた英語でなく、英語そのものに接近するよう努力し、英語国民の思考様式、あるいはメンタリティといったものを探知するよう努力して行きたいと念願しております。

具体例を挙げて説明しましょう。例えば May という単語に出遇つたら、単に五月とだけいつて過ぎず、a month associated with greenery (新緑を聯想させる月) という Pocket Oxford Dictionary の定義を紹介し

イギリスが北緯 50° という北方に位置するため、殆んど半年にも及ぶ長い月日を、煤煙を含んだどす黒い濃霧の下で過ごさねばならなかつた英国人に、歎息と希望の陽光と新緑をもたらす月としての May — こういう風に説明したいと思います。

使用テキスト

Wharton : Ethan Frome 研究社

I 英 語

非常勤講師 北 市 陽 一
(小樽商大短期大学部講師)

I 英 語

非常勤講師 野 尻 吉之進
(北海道大学文学部助教授)

1 前 期

平易なテキストを用い、多読の習慣をつけ、その間発音の修正、文法の復習を行う。

2 後 期

会話体のテキストを用い、会話作文の資とする。

3 試 験

前後期共、各 2 回行う。

4 テキスト

前期・A. Christie : The Labours of Hercules (成美堂 ¥90)

後期・T. Williams : The Glass Menagerie (英宝社 ¥150)

(英国もの、米国もの使用により、文体文法の差異、背景となる両国の風俗、習慣、社会事情等に注意する。)

II 英 語

教授 清水 春 雄

講 読

「時事英語」の読解に習熟するように、次のテキストを用いたい。

寛 太 郎 } 編 Current English
安 田 哲 夫 }

(成義堂発行 ¥130)

Ⅱ 英 語 教授 木 曾 栄 作

Ⅱ 英 語 助教授 玉 井 武

Ⅱ 英 語 講師 久 納 泰 之

James Joyce : Dubliners

語学的検討のほか、手法上の分析も試みる予定。

Ⅱ 英 語 講師 宇賀治 正 朋

授業方針は「英語Ⅰ」と同じであります。

テキスト Huxley : Short Stories by A. Huxley

(大阪教育図書出版社)

Ⅱ 英 語

非常勤講師
(小樽商大短期大学部助教授) 北 村 正 司

英作文、英会話、英語音声学に関する講義と演習を行う。視聴覚教育設備を利用する。

Ⅱ 英 語

非常勤講師
(小樽商大短期大学部講師) 北 市 陽 一

Ⅱ 英 語

非常勤講師
(北海道大学文学部助教授) 野 尻 吉之進

1 前 期

会話を含む比較的平易な現代文をテキストとし、多読に努めると共に会話作文に留意する。

2 後 期

比較的難解なテキストを用い、特に文法に注意しながら、複雑な構文の理解に努める。

3 試 験

前期後期共、各2回実施。

4 テキスト

前期・The Adventures of Ellery Queen (大学書林 ¥100)

後期・Saki : Beasts and Super-Beasts (南雲堂 ¥100)

(英国もの、米国もの使用により、文法文体の差異、背景となる両国の風俗、習慣、社会事情等に注意する。)

Ⅱ 英 語

外国人講師 イアン・ゴードン・マツクラウド

英 語 (2)

外国人講師 イアン・ゴードン・マツクラウド

英 語 学

講師 宇賀治 正 朋

授業方針は「英語Ⅰ」で述べたものと、根本的には同一であります。しかしこの時間は将来英語教師となるべき人、および英語教師は志さなくとも特に英語に興味を持つ人のためのものでありますから、次の点に留意して授業を進めたいと考えます。すなわち、英語学の全般にわたる基本的な知識一音韻論・文法・語源・英語史などを、テキストを読みながら個別的に学習してゆくというやり方で進みます。そして教職志望者には、夏・冬期休暇を利用して、英語学全般を組織的に扱った基本書(下記)を宿題として課し、学習してもらおうつもりです。

テキスト Treasure Island

市河三喜博士訳、研究社

The English Language by Wrenn

中島文雄教授による研究社翻訳版

英 文 学

教 授 清 水 春 雄

英文学講義

本年度はアメリカ文学の流れを概説するが、重点を所謂アメリカ国民文学の独立期に置く。

I 独 語

講 師 関 徹 雄

今年度は週4時間割当てられたので文法は相当高度に至るまで集中できると思う。

使用教科書

橋本文夫著 基礎ドイツ文法 (アカシヤ書房)

時間に余裕があれば現代短篇小説の講読も予定している。

H. ハルトウング:マリオン (三修社)

II 独 語

講 師 関 徹 雄

○クラスを二分したので、訳読、作文を個人的に指導し、日常の応用力もつけたいと思う。

使用教科書

片山泰雄編 続・中級短篇集 アカシヤ書房版

藤田五郎編 ドイツ語シンタクス 郁文堂版

上記短篇集読後は随時中級程度の小説を読み、(1月~2月)は小編文を読みたい。専門書理解の基礎をつけるためである。

予定教科書

S. ツヴァク レマン湖畔の悲劇 南江堂版

F. ザール 石わり人夫 南江堂版

課 外

○3年度生以上対象

昨年読残したゲーテ「聖ロツフス祭」を続ける。その後は下記教科書を使用してドイツ文学史を講読する。

シンケンガー著 ドイツ文学史 郁文堂版

さらにできれば社会・経済論文を読みたい。

○2年度生対象

作文に集中

藤田五郎 初等ドイツ語作文 アカシヤ書房版

II 独 語

外国人講師 アロイズ・ゲルハルド・フーベル

I 仏 語

教 授 松 尾 正 路

I 仏 語

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 大 黒 マチルド

II 仏 語

教 授 松 尾 正 路

II 仏 語

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 大 黒 マチルド

I 中 国 語

助教授 川 上 久 寿

II 中 国 語

助教授 川 上 久 寿

I 露 語

講 師 松 本 忠 司

初年級前半の授業内容は、発音練習と文法学習を主とし、テキストとして東郷正延著「簡約ロシア語文法」(白水社 ¥220)を使用する。なお、ロシア語読解力を養うために適時プリント刷りの読みものを配付する。

後半では、露文講読を主とし、露作文の基礎と文法の補足を並行しておこ

なう。講読のテキストとして次のものを予定している。

- 1 ソ同盟学校教科書「ソ同盟の歴史」(予価 ¥150)
- 2 ツルゲーネフ「初恋・アーシャ」(予価 ¥100)あるいはチエーホフ「ユーモア短篇集」(予価 ¥100)のいずれか。

Ⅱ 露 語 講師 松本忠司

文芸作品と社会科学文献とを並行して講読してゆく。

前期 文芸としてはチエーホフ作「桜の園」あるいは「三人姉妹」のいずれか。(予価はいずれも ¥100程度)

文芸以外のものとしては昨年度にひきつづき、「ソ同盟の歴史」を使用する。

後期 文芸書としてゴーリキイ「私の大学」の抜すい。

社会科学としてはエンゲルス「資本論について」(予価 ¥80)あるいはレーニン「ロシアにおける資本主義の発達」の抜すい。

Ⅰ 西 語 助教授 一色忠良

西語初等文法及び講読。

テキスト Primer Libros de Lectura

Ⅱ 西 語 助教授 一色忠良

西語講読及び商業文実習。

テキスト Cien figuras españolas

3. 体 育

体育実技

講師 杉山 登

体育実技内容

(A) 運動能力測定

毎年5月と11月に垂直とび、連続片足とび、体前屈、サイド・ステップの測定を行つている。

(B) 実技種目

① 軟式野球、軟式庭球、排球、羽球、ソフトボール、柔道、卓球。

以上の種目について4月より7月迄、9月より12月迄の2期間に分れ各期間において1種目各々自由選択とする。

② スキー。

本学の地理的特殊性からして、冬季間はスキーを実施し、全員参加とする。又、放課後毎週2回乃至3回程度の練習会を開く。

③ 水 泳。

全員参加とする。ただし、現状として、夏季においても水温が低いので、この点の解消次第実施の予定。

本学における体育は一般教育課程として行つている。体育運動に関する理解、実践する習慣及び能力を養い、将来中堅社会人として必要な体育的教養を体得させることを目標としている。

体育実技

非常勤講師 須貝忠吉

体育講義(体育理論)

講師 杉山 登

体育講義内容。

身体と運動との関係を運動生理学的面より考察して、体育運動に対する理解度を深め、体育実践の場における教養を体得させる。時間的關係から、主として必要な事項のみをとりあげて行きたい。

(A) 体育運動と血液。

- (B) 体育運動と血液循環。
- (C) 体育運動と呼吸機能。
- (D) 体育運動と筋肉。
- (E) 体育運動と骨格。
- (F) 疲労について。

テキストは使用せず講義で行う。

体育講義 (保健)

非常勤講師
(小樽協会病院内科医長)

久世彰彦 (予定)

4. 専門科目

民法 I

非常勤講師 木部林二
(小樽商大短期大学部教授)

民法 II

講師 中川良延

民法の債権各論, そのうちでも特に売買・贈与・賃貸借などの契約を中心として講義を行う予定であります。これらの契約はわれわれの日常生活に密接に関連しており, これらの典型契約の理論を理解することが民法全体の理解のために大きな手掛りとなると考えるからです。もちろん必要な限り物権変動の理論もおり込んで説明します。

商法 I

商法総則, 商行為法

助教授 喜多了祐

商法 II

会社法, 手形小切手法

助教授 喜多了祐

国際法

講師 桑原輝路

- 1 国際法の概念
- 2 国際法規の諸形態
- 3 国際法と国内法との関係
- 4 国家の成立と承認
- 5 国家の存続と消滅
- 6 国家の国際法的地位
- 7 国家の国際責任
- 8 国家結合
- 9 国家領域
- 10 国際社会の共同領域
- 11 個人及び国家機関
- 12 条約
- 13 国際紛争の平和的解決

経済法

非常勤講師
(大阪市立大学教授) 実方正雄(予定)

統計学

講師 竹内 清

講義要項

- 1 統計学史
- 2 記述統計
- 3 推測統計
- 4 経済統計

使用テキスト

森田優三編 経済学演習講座「統計学」青林書院 1955

講義はテキストに沿って行うが、時間の許す範囲内でOR(オペレーションズ・リサーチ)の初歩その他新しい問題点にも触れる予定。

経済原論

講師 藤井 栄一

経済学の基本的な事項についての解説と批判を中心に講義する。本年度は最初に、微視的分析について、ごくかんたんに考察し、つぎに、ケインズアン理論にそつての巨視的分析、最後に、明治以後、とくに1930年以来の日本経済についてごく大まかな分析を講義の中心問題にする予定。

特定の教科書は使用しない。参考書はその都度のべるが、巨視的分析のかなりについて

山田勇・藤井栄一訳「ボーモル経済動学序説」(東洋経済新報社)

日本経済のデータについては

一橋大学経済研究所「経済統計」(岩波書店)

および

経済企画庁(審議庁)「日本経済と国民所得」(至文堂)

が利用されることが多い。

なお、経済学についての予備的な知識は必須ではないが、なるべく、経済概論をすでに履修してある方が望ましい。

経済変動論

助教授 地主重美

1 この講義では経済変動とは何であるか、それは何故おこるか、どう対処するか、の3点を古典派、ケインズアンおよび経済成長論者(Economic Growth Theorists)の諸学説を通して理論的に把握し、他方データを用いて変動のパターンを概観する。

2 リーディング・リスト

森嶋通夫; 資本主義経済変動理論

Banmol. W. J.; Economic Dynamics (1951) (邦訳)

Harberler. G.; Prosperity and Depression 3rd. ed.

(1941 or later)

Harberler(ed.); Readings in Business Cycle Theory (邦訳)

Metzler (ed.); Income, Employment and Public Policy (邦訳)

一橋経済研究所; 経済統計

計量経済学

教授 古瀬 大六

アレン「数理経済学」上, 下(紀伊国屋書店)をテキストとし、数学的モデルを構成する能力を養う、統計的手法は含まない。(テキストは指示あるまで購入しないこと)

経済史概論

助教授 浜林 正夫

[I] 封建社会の構造

(i) 農奴制の成立

(ii) 農奴制の構造

(iii) 封建社会の上部構造

[II] 封建社会の解体過程

(i) 貨幣地代の成立

(ii) 農民層分解

[III] 絶対主義

(i) 寄生地主制

(ii) 商業資本

(iii) マニユファクチュア

[IV] 市民革命

(i) 市民革命における階級対立

(d) 市民革命における土地問題

[V] 産業革命

(i) いわゆる資本の本源的蓄積について

(d) 技術革新

(h) 労働問題の発生

日本経済史

教授 室谷 賢治郎

講義要項

I 原始時代

1 社会組織

2 経済生活

II 氏姓時代

1 氏族制度と国家の編制

2 生産と流通

III 律令時代

1 大化の改新

2 班田制下の社会階層

3 農工業と商業

4 荘園の発達

IV 中世封建時代

1 武家政治と社会機構

2 農業—工業—商業—交通

V 近世封建時代

1 中央集権と鎖国

2 農業—工業—鉱業—商業—金融—交通

VI 資本主義時代

1 明治維新と経済改革

2 殖産興業

3 産業革命

4 企業集中と独占

5 対外貿易の伸長

農業経済学

助教授 藤沢 正也

I 農業における資本主義の発達

a 土地制度の変革

b 農産物の商品化と農業経営の近代化

c 農業と他産業の経済的連関

d 小農経営の特質

II わが国農家経済の特色

a 経営規模

b 経営収支

c 農民層の分解

III わが国農業における協同組合の役割

a 農業金融

b 共同販売

c 共同購入

IV わが国農業当面の諸問題

以上の諸項目について、Iを(4月~7月)、II・IIIを(9月~12月)、IVを(1月~2月)の順序で lecture.

社会政策

講師 吉武 清彦

社会政策講義要目

第一篇 総論

I 労働問題

II 労働をめぐる諸科学

III 社会政策の本質

IV 社会政策と社会思想

第二篇 各論

I 賃金論

賃金形態—賃金本質論—最低賃金制。

II 労働者保護に就いて

III 労働組合論

労働組合の本質—労働組合の組織と運営—労働組合の機能。

IV 労資関係論

団体交渉—労資協議制度—争議と争議の調停。

V 労働市場論

労働市場の展開—労働力の供給と需要の構造。

VI 社会保障

社会保障の本質—日本の社会保障

VII 国際的社会政策

参考文献

入門書—大河内一男『社会政策』(昭32・青林書院)

概説書—大河内一男『社会政策』(総論・各論2冊)

(昭25—27・有斐閣)

各論の参考書に就いてはその都度指示する。

財 政 学

講 師 早 見 弘

本年度講義は以下の順序でおこなう。

第一章 財政学的領域の設定

第二章 公共経費論

第三章 公共収入論—主として租税論について—

第四章 財政秩序論—予算と経済計画について—

わが国の財政統計と財政制度を例示しながら進めるが、とくに租税について詳述したい。

参考文献

Wagner, A., Finanzwissenschaft Bd. I 1883, Bd. II 1890

Terhalle, F., Die Finanzwirtschaft des Staates und der Gemeinden 1948

Gerloff, W. und Neumark, F. hrag, Handbuch der Finanzwissenschaft Bd. I 1952, Bd. II 1956, Bd. III 1958

井 藤 半 弥:「再訂財政学概論」昭和30年

井 藤 半 弥:「財政学(四訂版)」昭和31年

木 村 元 一:「近代財政学総論」昭和33年

G.コルム・木村・大川・佐藤共訳:「財政と景気政策」昭和33年

国際経済論

助教授 麻 田 四 郎

テキストとして次の二著を使用する。

◎小島清著 外国貿易・新版 昭32 春秋社

◎藤井茂訳 ハロッド国際経済学・改訂版 昭33 実業之日本社

1 比較生産費の理論

2 国際価値論

3 交易条件

4 外国為替および為替相場

5 為替市場の安定性

6 貿易乗数の理論

7 国内均衡と国際均衡

8 新国際経済協力機構

9 経済発展と外国貿易

(比較生産費理論の動態化・資本蓄積と外国貿易)

商 業 英 語

教 授 木 曾 栄 作

金融経済論

助教授 阪 口 伸六郎

第一章 総 説

1 金融論の対象

2 貨幣経済社会の構造

第二章 国民所得の循環

1 資本と所得

2 経済社会の成長

第三章 通貨制度

1 貨幣と経済過程

2 信 用

第四章 貨幣価値

1 物 価

2 インフレーション

3 為 替

4 金 利

第五章 金融市場

1 資金形態

2 金融機関

3 市場の変動

4 金融恐慌

5 証券市場

第六章 金融政策

1 通貨政策

2 財政と金融政策

3 外国為替政策

第七章 景気観測と資金需給

1 景気予測

2 マネー・フロー分析

銀行論

助教授 藤 沢 正 也

I 銀行業務

a 商業銀行の Balance Sheet Approach (自己資本, 預金, その他の負債, 貸出, 有価証券, その他の資産構成について)

b 商業銀行の経営収支 (特に金利操作による Earning Capacity について)

c 商業銀行経営の近代化 (その歴史的経過と国際的な Pattern について)

II 金融市場

a 金融市場の構成要因 (商業銀行と中央銀行, ビルブローカー, 長期金融機関, 政策金融機関等の関係)

b 短期金融市場のメカニズム

c 長期金融市場のメカニズム

III 金融政策

a 金利調整

b 資金量の調整 (Open Market Operation)

c 支払準備操作

d Fiscal Policy

e 直接統制

IV わが国商業銀行当面の問題点について

以上の諸項目について, Iを(4月~7月), II・IIIを(9月~12月)

IVを(1月~2月)の順序で lecture.

配給論

教授 岡 本 理 一

マーケティングを中心として講述し, 協同組合, 中小企業問題にも関説する。

1 マーケティングの概念

2 配給組織の合理化

(1) 配給組織の合理化と計画化 (2) 計画配給について

3 販売経営

(1) 販売経営の管理 (2) 販売計画 (3) 販売予算

4 市場調査

(1) 市場調査の意義 (2) 市場調査の方法 (3) 販売割当

5 売価政策

(1) 売価決定の意義 (2) 売価決定の方法

6 広告と宣伝

(1) 広告の意義 (2) 広告効果の測定 (3) P・Rとマス・コミュニケーション

7 商品取引所

(1) 商品取引所の意義 (2) 商品取引所の業務 (3) 商品取引所政策

8 中小企業問題

(1) 中小企業の特質 (2) 中小企業の経営合理化

9 協同組合

(1) 協同組合の意義 (2) 協同組合の配給事業

10 社会化配給について

(1) 社会化と配給組織 (2) 社会主義国の配給組織

証券市場論

助教授 木村 増三

わが国証券市場の実情を中心に、次の順序で講述する。

- 1 証券の意義とその経済的機能
- 2 証券の諸類型
- 3 証券の発行・移転・消滅
- 4 証券取引と証券需給
- 5 証券取引所
- 6 信用取引と定期取引
- 7 店頭売買
- 8 証券の発行取引と売出取引
- 9 証券放資と証券価格
- 10 証券投機と証券価格
- 11 証券の保有分布とその移動
- 12 証券流通と資金流通

商品学

教授 川原 鳳策

保険論

教授 久木 久一

保険の概念—保険の本質、保険の組織、保険の種類、保険料と責任準備金
保険契約論

- 第一節 序 説
- 第二節 保険契約の締結
- 第三節 保険契約の変更
- 第四節 保険事故の発生
- 第五節 保険契約の消滅

海上保険論

- 被保険利益論
- 海上危険論
- 海上損害論

34年度は契約論に重点を置き、時間の許す限り海上保険論を講ずる予定

経営経済学

教授 室谷 賢治郎

講義要項

I 序 説

- 1 研究の対象と方法
- 2 学説の発展

II 企業と経営者

- 1 資本と経営の分離
- 2 経営の機能

III 企業形態

- 1 個人企業
- 2 会社企業
- 3 公 企 業
- 4 協同組合
- 5 企業集中

IV 経営管理

- 1 科学的管理
- 2 最高管理組織
- 3 スタッフとライン
- 4 作業組織
- 5 事務管理
- 6 オートメーション

V 経営労務

- 1 人事管理
- 2 賃 金
- 3 労使関係

VI 経営財務

- 1 資本と資産
- 2 資本の調達
- 3 予算統制
- 4 経営分析

VII 利益管理

- 1 損益分岐点
- 2 内部統制

財務管理

教授 古瀬大六

前半は、マネジメントスクール、テキスト「O.R. (オペレーションズ・リサーチ)」を使用して経営計画の立て方を訓練し、後半はそれを制度に応用する方法を論ずる。

簿記学

講師 久野光朗

大学における簿記の学習は、単に小手先の技術の修得に終わってはならない。それは広義の会計理論に結びついた一分野でなければならない。従って慣行的な簿記の講義を超えて、会计学概論的な匂いのする講義をしたい考えである。

しかしながら、必要不可欠な最低限の基礎的技術の修得がなければ、理論への道も遠いのであるから、基本的な原理は徹底的に指導する予定であり、場合によっては“手で学ぶ”(learning by doing) ことも必要となろう。

講義の大綱は、教科書的に羅列すれば、下記の如くになるが、そのうちで特に原理的な貸借理論と勘定理論に重点をおいてゆく考えである。

- §1 総論
- §2 貸借理論
- §3 勘定理論
- §4 帳簿組織論
- §5 財務諸表論序説

テキストは下記のものを使用する。

石河英夫教授：「商業簿記要論」

猶、時間を節約して能率の向上を計る為に適時アサイメントを決めたり、実力を養成する為に数多くのテストを併用していく方針である。

原価計算

講師 久野光朗

講義体系を教科書的に羅列すると下記の如くなるかと思えます。

- §1 総論 (原価計算の意義と目的, 原価概念, 原価の分類, 原価計算の分類, 財務会計との関係, etc.)
- §2 原価要素論 (材料費会計, 労務費会計, 経費会計)
- §3 原価集計論 (個別原価計算, 総合原価計算)
- §4 原価管理論 (標準原価計算, 原価分析)
- §5 特殊原価調査 (利益管理, 直接原価計算, その他, 経営方針の決定に役立つ原価計算)

上記の項目に対して、§1 総論は例年通りに行い、§2 原価要素論は特に材料費会計を中心に行い、§3 原価集計論は計算手続の原理的指導にとどめる予定です。この§1から§3までやるだけでも、綿密にやれば一年を要するので、参考書を前以て読んで貰ったり、アサイメントを決めたりして成可く時間の節約による能率の向上を計り、例年充分に指導出来なかつた原価管理論にまで進む予定です。

終りに、テキストは別に指定致しませんが、次週の講義のテーマを前の時間に知らせますから、講義を聞いて理解出来るだけの予備知識が備っているように心掛けて頂きたい。

商業数学

教授 武隈良一

商業数学といえば普通に、利息算、年金算、減価計算などを意味するが、ここでは広く解釈して、商業、経済、経営に必要な数学を広く講義する。1年度生においては微積分を一通り終つたので、それ以外の数学をできるだけ紹介するのが目的である。

内容は下記にしるしたものなかから時間の許す限り多く選んでいく方針である。

- 1 微分積分学補遺
- 2 微分方程式
- 3 行列 (マトリックス)
- 4 行列式
- 5 変分学
- 6 定差方程式
- 7 記号論理学
- 8 ゲームの理論

使用テキスト

岡本哲治・福田献一 共著 「現代経済理論のための数学入門」日本評論新社

会計学

教授 石河 英夫

- 第一章 会計学の概念
- 第二章 企業会計の本質
- 第三章 企業会計の機能
- 第四章 企業会計の基礎的前提
- 第五章 企業会計原則
- 第六章 会計学説の展開
- 第七章 資産会計
- 第八章 資本会計
- 第九章 剰余金会計
- 第十章 損益計算
- 第十一章 棚卸資産の評価
- 第十二章 減価償却

監査論

非常勤講師 西野 嘉一郎 (予定)

職業指導

非常勤講師 阿部 利雄

5. 教職に関する専門科目

教育原理

非常勤講師 鈴木 秀一
(北海道大学教育学部講師)

教育心理

助教授 野沢 晨

教育とは教育者と被教育者との間の相互交渉の過程である、と考えねばならぬ。従来教育を授ける、などと云つてその一方の過程のみが強調され、その逆の回路、いわゆるフィードバックの方向は比較的軽視されて来た。教育心理学は此の二つの過程を規定する諸条件を科学的に追及するのである。

本年度は特に次の二つの項目を主題としてとり上げる。

1) 発達の問題

運動機能、認知機能、感情、思考、社会性等の発達の様相を人間の一生の変化、と云う面からだけでなく、動物心理、未開民族心理、異常心理学等のデータも参考にして調べ、発達の基本法則、発達の本質について考察する。

2) 個体差の問題

- A) 知能、知能の測定、測定の意義、知能因子、知能の遺伝
- B) 性格、性格学説、性格検査
- C) 人格の成立、不適応、適応の指導、集団療法とその意味

以上のトピックを考察する過程に於て、自から教育の本質、その目的が明かにされる、と考えるのであるが最後にこれをまとめて、「教育とは何か」を問題とする。

(尚本年はテキストを使用せず、随時プリントを配布する予定である。)

英語科教育法

非常勤講師 北村 正司
(小樽商大短期大学部助教授)

外国語教授法発展の歴史を概観して Oral Approach に及び、英語の発音、文型、語彙、会話、作文、読方の教授および視聴覚材料の取扱い方に関する講義と演習を行う。また英語の音声学、文法、語彙、作文、英米文化などに関し研究を行う。

3 15
172
5

商業科教育法

非常勤講師
(小樽商大短期大学部教授) 金 卷 賢 字

教育実習

英語科 (小樽商大短期大学部助教授) 非常勤講師
北 村 正 司

商業科 (小樽商大短期大学部教授) 非常勤講師
金 卷 賢 字

教育方法論 (北海道大学教育学部講師) 非常勤講師
鈴 木 秀 一